

過去の出題傾向について確認しておこう！

京大入試研究[国語(文系)]

▶ 出題一覧表

過去 10 年の京都大学の入学試験で出題された文章の出典を次の表にまとめた。

	㊦ 現代文	㊧ 現代文	㊨ 古文
2016	『青天有月』 松浦寿輝	「聖産業週間」 黒井千次	『伊勢物語』 『説苑』
2015	『短編小説礼讃』 阿部昭	『私の一日』 里見弴	『うつほ物語』
2014	『望郷と海』 石原吉郎	「逆説としての明治十年戦争」 渡辺京二	『とはずがたり』 後深草院二条
2013	『ブリューゲルへの旅』 中野孝次	『旅がへり』 幸田文	『源氏物語』(宿木) 紫式部
2012	『痩せた雄雞』 尾崎一雄	『意欲的創作文章の形式と方法』 坂口安吾	『百首異見』 香川景樹
2011	『失われた時代』 長田弘	『神話する身体』 安田登	『井関隆子日記』
2010	『物語る声を求めて』 津島佑子	『宗教とは何か』 上田閑照	『増鏡』
2009	『書き言葉について』 柳沼重剛	『天地有情』 南木佳士	『発心集』 鴨長明
2008	『《演劇的知》について』 安田雅弘	『文字禍』 中島敦	『石清水物語』
2007	『死に直面した状況において希望 はどこにあるのか』 清水哲郎	『多すぎる自己没入型』 中野好夫	『冷泉家和歌秘々口伝』

▶ 分析と対策

[現代文] 出題文章は随筆が中心だが、2016年のように小説が出題されることもあり、また以前は近代文語文が出題される傾向にあったので、この対策も欠かせない。もともと出典が多岐にわたり、書かれた時代、文章のジャンル、題材的にも多様なものが用いられる大学であるだけに、一問でも多くの過去問にあたって、対応力を高めておくことが必要である。

[古文] 前後の内容を踏まえて解く設問が多いので、単語や文法の学習だけでなく、過去問演習等を通して、平安物語から近世随筆まで、様々な作品に触れ、正しい読解ができるよう練習しておきたい。和歌に関わる文章の出題も多いので、和歌の学習もしておきたい。漢文も基本的な読み方等は確認しておこう。